



群馬県 学生発！少子化対策チャレンジ事業

「今から未来を」プロジェクト 活動成果報告



メンバー紹介

中央情報経理専門学校	2年	青柳祐亮
中央情報経理専門学校	1年	瀬谷治希
東京福祉大学	3年	今市屋杜羽
群馬県立女子大学	4年	岩上早紀
群馬県立女子大学	2年	菊池綾花
群馬大学	3年	中澤麻美
群馬医療福祉大学	3年	山本来瑠美

メンバー紹介

高崎経済大学 2年 植松美波

高崎経済大学 2年 茂木宏斗

群馬県立県民健康科学大学 2年 大澤花蓮

群馬県立県民健康科学大学 2年 小野未央

共愛学園前橋国際大学 2年 鈴木舞南

共愛学園前橋国際大学 3年 星野有美

新島学園短期大学 2年 原田優奈

新島学園短期大学 1年 松村乃杏

「今から未来をプロジェクト」って何？

今から

未来を

||

||

学生・若者

仕事 + 生活

||

キャリア & ライフデザイン

ライフデザイン (例)

年齢	仕事(ワーク)	生活(ライフ)
22歳	就職先が決まる	
23歳	国試に合格する 看護師として働き始める	一人暮らしを始める
25歳		婚活を始める
28歳		結婚
29歳		出産
31歳	訪問看護師として働き始める	出産
33歳		出産
70歳	退職	アクセスが悪くないけど騒がしくないようなところでまったり暮らす。

ライフデザイン(例)

年齢	仕事(ワーク)	生活(ライフ)
●歳	自分がどのようになっているか記載	自分がどのようになっているか記載
22	英語に関する仕事を始める	自由に生きる。外国人の友達が増える！
25	何か自分で立ち上げる	友達と飲んだりしていきたい
28	仕事順調	結婚！
30	休	第一子誕生
32	専業主婦	子育て
35, 6	<u>子供向け英会話立ち上げる</u>	子育て
60	英会話先生	
65	退職	孫誕生
70以降	なし	のんびり

ライフデザイン

育児

【育児短時間勤務制度】

子どもを養育する従業員が希望した場合、
勤務時

- ◎ 取得要件：年
- ◎ 労働時間：原
- ◎ 取得人数：社

【子の看護休暇】

子どもの病気やケガなど看護が必要なときに利用できる休暇
(1人につき5E)

- ◎ 取得要件：年齢上階
- ◎ 賃金：有給
- ◎ 利用形態：1時間単位
- ◎ 取得人数：社員の利

例えば・・・
子育て支援
制度

育児

育児

【配偶者の出産時休暇】

配偶者の出産時に利用できる休暇

- ◎ 休暇日数：5日間（分割取得可）
- ◎ 賃金：有給
- ◎ 取得人数：社員の利用は、2019年対象者12名中11名取得

企業により
さまざま

ライフデザイン

どんな生活(ライフ)を

送りたいか描くことで、

仕事や企業選びが変わる？

プロジェクトのミッション

考えよう一緒に。

「今から未来を」

2018年度版
今ミラ



プロジェクトのミッション

先輩が考えた「提案」を実現すること

- ①結婚に対するポジティブイメージを育む動画制作
- ②県内企業との協働による仕事と家庭の両立体験(ライフ・キャリアデザイン)企画

基礎セミナー(4名の講師より)

婚活

(プリオホールディングス
株式会社)

結婚

(ぐんまウエディング
チーム)

子育て

(ママの働き方応援隊
群馬西校)

ワークライフ バランス

(株式会社 ジーシー
シー)

専門セミナー

「ワーク&ライフ・インターン」について (スリール株式会社)

本気で子どもと向き合う。
自分と向き合う、仲間と向き合う。
だから、変わる。
だから、一生の仲間ができる。



ライフとキャリアのデザイン教育

ワーク&ライフ・インターンとは？

大学生が「働くこと」、「家庭を築くこと」を学び、実際に体験することで、
自分のなりたい姿を描くことができる
仕事と育児の両立体験プログラムです。

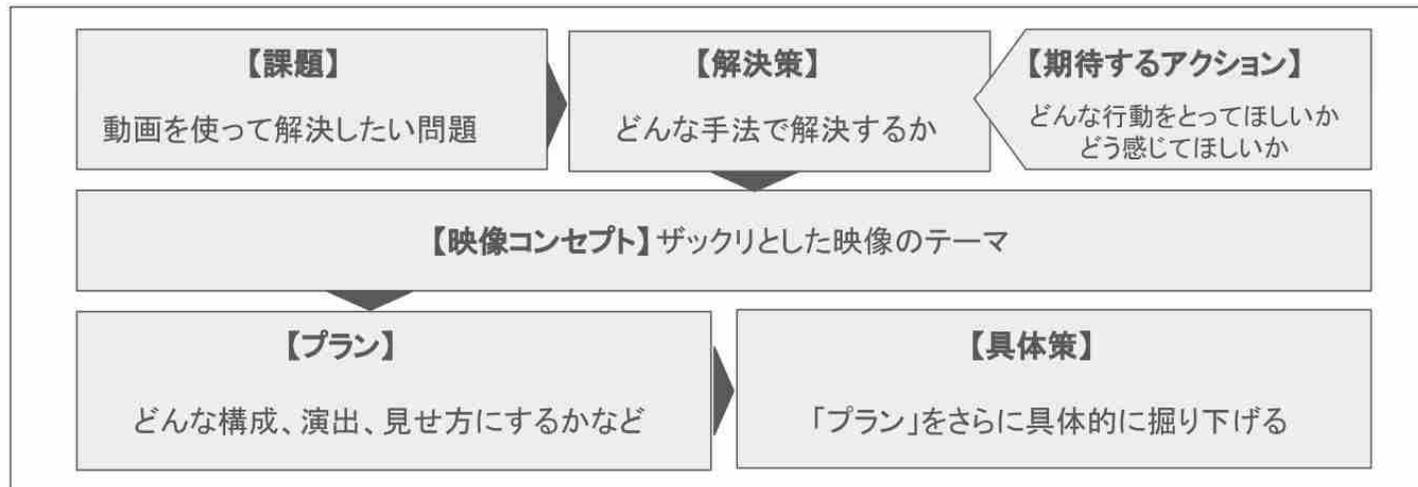
専門セミナー

「動画のディレクション」について (8hammer株式会社)

企画書の必要性

8hammer

企画書は、**制作段階でのブレを防ぐ**重要な役割をします。
まずは1枚の紙にまとめ、必要があれば詳細を落とし込んでいく…と、やりやすいです。



チーム分け

ワーク&ライフ
チーム

動画チーム

群馬テレビ出演



JOYのASOBU-TV JOYnt! ジョイント

放送: 水曜日 23:00~23:30
(再放送: 日曜日 23:00~23:30)



プロジェクトアドバイザー

共愛学園前橋国際大学

奥田 雄一郎 教授



チーム別成果報告

ワーク&ライフチーム

植松 美波
中澤 麻美

大澤 花蓮
原田 優奈

小野 未央
星野 有美

菊池 綾花
茂木 宏斗

目的

2018年度提案 前提

ワークステイ

従来のインターンシップに加えて

”実際にワーク・ライフ・バランスの見本

となる人の家に**ホームステイ**する“という斬新なもの

従来のインターンシップでは補えない社会人の「**生活**」に密着

することで、**実際の生活サイクルを体験**でき、体験者自身の

ワーク・ライフ・バランスを考える良いきっかけに



2020年度action とは

2018年度の提案を実行し、若者に効果があるものなのか検証



今年度はコロナ禍により実際にホームステイをすることが困難



オンライン上でインタビューによるインターンシップを実施

ワーク & ライフインタビュー

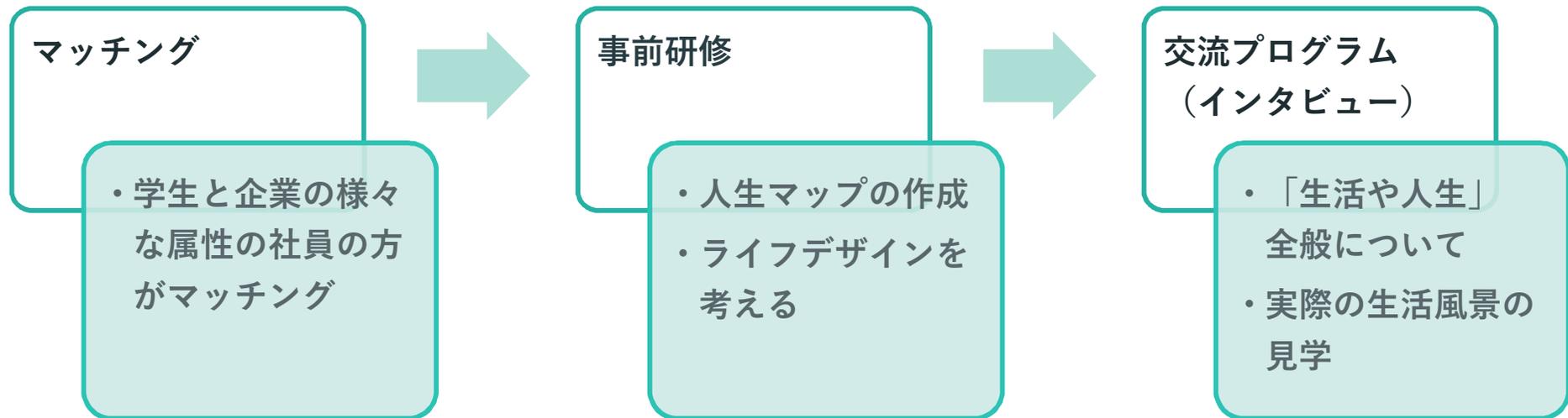
▶プロジェクト目標

1. 若者がこのプロジェクトに参加し発信することで、**ライフデザイン**（**人生設計**）について知り**ライフキャリア**を考える きっかけとなる
2. 若者が**ライフデザイン**を知ることによって群馬県の**少子化対策**へとつながる

▶学生に対する目標

1. 学生のうちから**ライフデザイン**を知ることによって卒業後にギャップを感じずにスムーズに社会人となることができる

実施の流れ①



実施の流れ②

まとめ・発表

- ・ インタビュー前後でライフデザインが変化したか考える
- ・ 他己紹介という形で発表
- ・ 発表することで、参加学生の理解が深まる
- ・ 発表を聞くことにより、選択肢の幅が広がる



パンフレット作成

- ・ よりたくさんの若者に伝える
- ・ ライフデザインができる若者の増加
- ・ 将来を自分事に捉え、具体的なライフキャリアの形成

活動報告

若者の現状：
社会人と関わる機会が少ない…。



サンプルが少ない中で、若いうちから将来
を具体的に考えるのは難しいのでは？

学生 & 県内企業 交流プログラム

▶3ステップで学びを深める

1.事前研修

2.交流プログラム

3.成果発表会

1. 事前研修：人生マップの作成



○気軽に取り組める
▶ **ライフデザインに興味を持ってもらう**
きっかけに

○同年代との**共有**
▶ 色々な**価値観**を知る、
視野を広げる

1. 事前研修：アンケート

- 将来、**群馬で働きたいか**。
 - 企業選びの際、軸にしたいこと**は何か。
 - 将来、**結婚したいか**、何歳までに結婚したいか。
 - 結婚の**強み・弱み**は何か。
 - 子育て**に興味があるか。
 - 「仕事」、「結婚・子育て」に対して**不安、期待**はあるか。 etc…
- ▶**前後でアンケートを実施、変化を比較**

2. 「学生 & 県内企業交流プログラム」

- 群馬県内の5社の社員さん & 学生さんをマッチング。
- 1対1で、インタビュー & フリートークを行ってもらい、**仕事や結婚生活、子育てなど、人生について**を自由に話し合ってもらおう。

ご協力していただいた企業様

▶ 県内企業から**本プロジェクト**にご協力して頂いた5社

- 株式会社 群馬銀行
- 株式会社 ミツバ
- 株式会社 原田
- 株式会社 両毛システムズ
- ティースリーブライダルオフィス

(敬称略、順不同)

2. 「学生 & 県内企業交流プログラム」

○ご家族にもご参加いただき、**リアルに近い家庭内の様子**を見せていただく

▶**一方的な講義という形でなく**、実際に社会人の生活を**疑似体験**することができた

2. 「学生 & 県内企業交流プログラム」

○作成した**人生マップ**を見ながらアドバイスを
いただく

▶**現実を知り**将来をより具体的に考えられるように！

2. 「学生 & 県内企業交流プログラム」

- ▶ **オンライン会議ツール**の使用 & **1対1の対話**で
社員さんの日常生活に
より密着したコミュニケーションを実現！

- ▶ **社会人先輩の「生きた声」**を聴くことで
将来を具体的に考えることができるように！

3.成果発表会

○交流プログラムで学んだことをパワーポイントにまとめてもらい発表してもらおう

▶インプットで終わるのではなく**アウトプットの機会を設ける**ことで**学びを深める**

4.パンフレットの作成



※仮デザイン

○本プログラムの内容をまとめた
パンフレットを作成し、SNS やチ
ラシを活用し宣伝、群馬県ホーム
ページにてPDF配布

▶若者にライフデザインの重要性
を広める

成果報告

○学生アンケートを実施

- 将来、**群馬**で働きたいか。
- 企業選びの際**、軸にしたいことは何か。
- 将来、**結婚**したいか、何歳までに結婚したいか。
- 結婚の**強み・弱み**は何か。
- 子育て**に興味があるか。
- 「仕事」、「結婚・子育て」に対して**不安、期待**はあるか。 etc…

▶ **プロジェクト前後でアンケートを実施し、
参加学生の変化を比較・分析！**

○学生アンケート比較分析

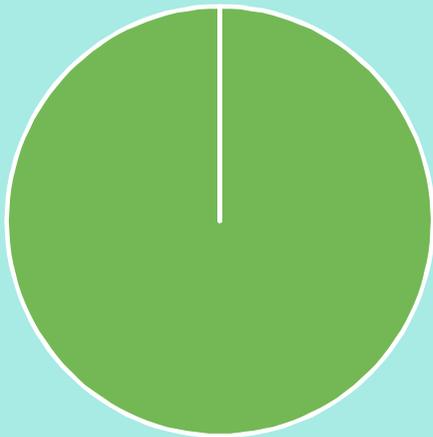
▶プロジェクト前後の学生アンケートより学生の大きな変化が見られた4つの項目をピックアップ！

1. 将来に対する不安
2. 将来に対しての期待
3. 人生マップ作成による変化
4. ライフデザインに関して

1 将来に対する 不安

▶プロジェクト前

Q 「仕事」、「結婚・子育て」
に対して不安はありますか



参加学生全員が
不安があると回答！



将来に対して不安に
思っている若者が多い

▶ プロジェクト前

Q どんな不安があるのか

【仕事】

- まず、**就職**を無事にすることができるのか
- 就職できたとしても仕事が自分にとって**ストレス**にならないか
- 自分の**能力の限界、人間関係**
- 家庭と仕事の**両立**ができるのか

▶プロジェクト前

Qどんな不安があるのか

【結婚】

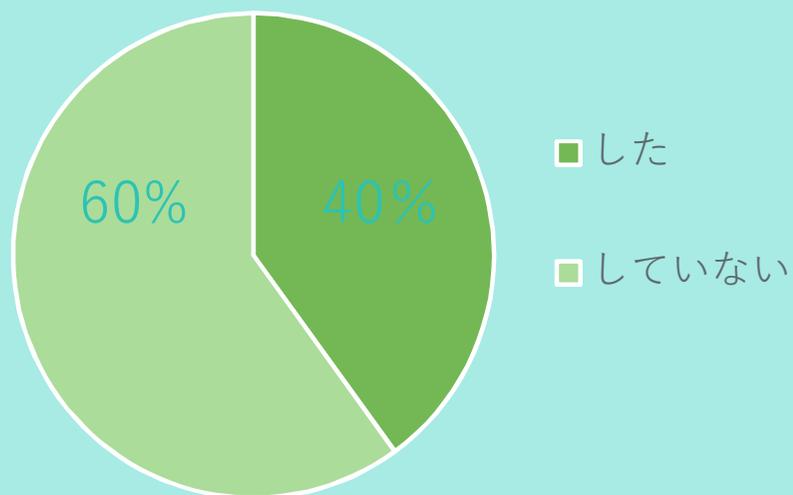
- 価値観**の差を乗り越えられるのか
- 毎日の生活が**変化**してしまい、うまくやっていけるのか
- 結婚前と結婚後で**相手との関係**が変わらずにいられるのかどうか

【子育て】

- 自分が**子供**をきちんと育てていけるのか
- 体力、精神的**に大変そう

▶プロジェクト後

「仕事」、「結婚・子育て」に
対して不安は解消しましたか



プロジェクトに参加



全体の**40%**の学生が
「**不安が解消された**」
と回答した！

▶プロジェクト後

Q どんな不安が解消されましたか？

✓ 学生のコメント

○ 「実際に育児休暇などといったものはきちんととることができるのか、育児休暇後職場には復帰することに問題はないのかなどの不安がありました。が、インタビューをした中でどちらも可能であることが分かりました。」

▶プロジェクト後

Qどんな不安が解消されましたか？

✓ 学生のコメント

- 「仕事をしながらでも子育てをパートナーと協力して行えば、両立することも難しいことではないことが分かりました。
また、子育てをしながらでも仕事のキャリアアップを目指せると感じました。」

まとめ

▶成果

全体の40%の学生の「将来に対する不安」を
解消することができた！

▶課題

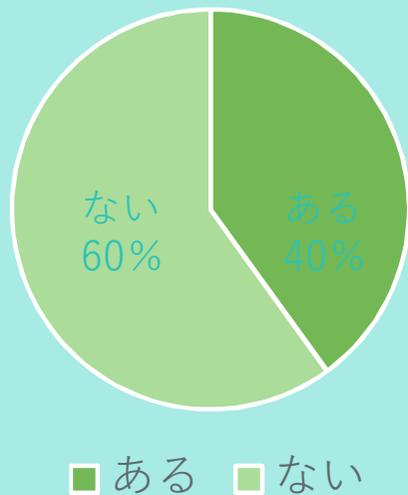
全体の60%の学生の「将来に対する不安」は
解消できなかった

⇒ 1回のインタビューでは不安を解消できない？

2 将来に対して の期待

▶プロジェクト前

Q 「仕事」「結婚・子育て」
に対して期待はありますか



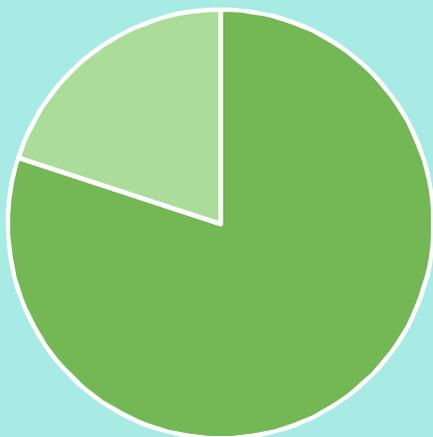
将来に対して期待している
学生は全体の40%のみ！



全体の60%もの学生が将来に
対して期待していないという
結果に！

▶プロジェクト後

Q 「仕事」、「結婚・子育て」
に対して期待はありますか



プロジェクトに参加



参加学生の80%が
将来に対して期待があると回答！

▶プロジェクト後

Qプロジェクトを通じてどんな**期待**を持つようになりましたか？

【仕事面】

- 自分の持っている**技術**がどれだけ使うことができるのか
 - 成長**し、仕事で**成功**すること、**キャリアアップ**すること
 - お金を稼ぎ、**趣味**に時間を過ごせる
-

▶プロジェクト後

Qプロジェクトを通じてどんな**期待**を持つようになりましたか？

【結婚・子育て】

- どれほどの**温かい家庭**を作ることが出来るのか
 - パートナーと幸せな生活**をすること
 - 立派な子どもに成長**させることが出来るのか
 - 家族**が増えること
-

まとめ

▶成果

プロジェクト前 全体の40%の学生のみ！



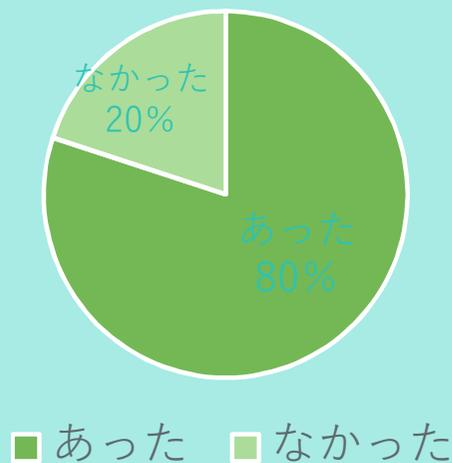
40%も上昇

プロジェクト後 全体の80%の学生が
「将来に対して期待する」と回答した！

3 人生マップに よる変化

▶プロジェクト後

人生マップを作成して自分の中で何か変化がありましたか



プロジェクトに参加



参加学生の80%が
「自身の変化があった」
と回答！

✓学生のコメント

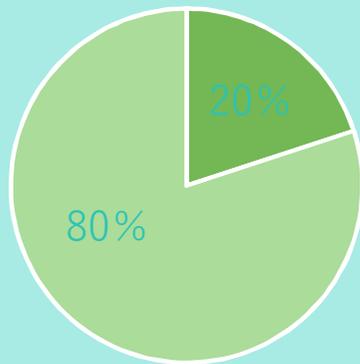
Q人生マップ作成によってどんな**変化**がありましたか？

- 今後自分が何をすべきなのかが**明確**に見えるようになりました。
 - 自分の人生を考える機会がなかったので**将来を見据えることができました。**
 - もっと計画を具体化したいです！
結婚も計画的に考えるようになりました。
 - 「結婚・子育て」に対して前向きになったとはいえないが、**子育てをしている社員さんのお話して育児の楽しい面も**
知ることができました！
-

4 ライフデザイン に関して

▶プロジェクト後

今回のようなプロジェクトは同世代の方にとって意味がある、または勧めたい



■ よく当てはまる ■ 当てはまる

プロジェクトに参加



参加学生全員が同世代にとって意味のある、または勧めたいと回答

▶プロジェクト後

Q このプロジェクトが「同世代にとって意味のある、勧めたい」と思うと回答したのはなぜですか？

- 自分の大学卒業後の進路を考えるうえでとても役立つ知識をたくさん吸収することができると思うから
 - 若者には自分の人生について考えられるいい機会だと思うため
 - 社会人の方と話せる機会もなかなか無いし、zoomなら参加しやすいと思うから。
-

学生の感想

▶プロジェクト後

Q 社会人の方に**直接インタビュー**というものをやってみて
どうでしたか。



- 1対1のインタビューであったため、聞きたいと感じていたことを多く聞き出すことができました！
 - 企業の社員の方とじっくりお話をする機会はなかなかないことなので貴重な体験をすることができました！
-

参加学生の声

「今まで社会人と関わる機会が少なかったのですが、今回自分の中の社会人のイメージと実際の姿が違って、楽しく刺激になりました」

「自分は大学1年でまだ3年あるが、今回早い段階で企業の方とお話できたので、社会人になるまでに準備が必要なことも分かったので、就職するまでにいろいろな準備をしておきたいなと思った」

「あと2ヶ月で社会人になる上で、改めて人生マップで人生設計をしたり、実際に30年社会人経験のある人にお話を聞いて貴重な体験になった。今後にも活かしたい」

まとめ

○プロジェクト前将来に対する不安がある学生は100%

⇒参加学生の40%の学生の不安を解消することができた！

○プロジェクト前結婚・子育て等の支援策について知っている学生はほとんどいなかった。

⇒具体的な結婚・子育て等の制度・サポートを参加学生全員に周知することができた！

○プロジェクト前「将来に対して期待する」学生は40%

⇒参加学生の80%の学生に上昇することができた！

○参加学生の80%が人生マップによって「自分の中で変化があった」と回答！

⇒学生が将来について考えるきっかけをつくることができた！

○参加学生全員がこのプロジェクトは「同世代にとって意味のある、または勧めたい」と回答した！

⇒ライフデザインの重要性を同世代の参加者に周知することができた！

総括

「仕事」、「結婚・子育て」への不安を
持っていた学生たちに変化が！！

全体の**40%**の参加学生の不安解消に成功！

では、残りの**60%**の不安も解消するには??

1.提案

インタビュー

+

子育て体験

①参加学生が選んだ**複数**の社会人にインタビュー

➤今回のプロジェクトとの相違点

- ・事前に参加学生が興味ある企業を聞くこと
- ・複数の企業にインタビューができること

➤プラスα

- ・インタビュー前に参加学生へワードブックを配布

②インタビューした社会人家庭で**子育て**体験

➤ポイント

- ・インタビューでの学びを更に深めることができる
- ・リアル体験をすることで大幅な不安解消が見込める

➤子育て体験が不可能な場合

- ・社会人家庭の様子をオンライン上で見せていただく

2.まとめ

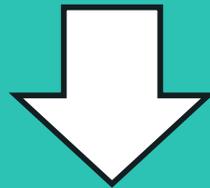
インタビューと子育て体験を組み合わせることで
参加学生の将来イメージ力がアップ！！！！



参加学生全員の**不安解消**につながる

今回のプロジェクト結果を経て…

人生の中でライフデザインは変化していくものだと分かった
これは学生においても同じことだといえる



学生自身のライフステージの変化に応じて
1度きりで終わらない
継続したアプローチを行っていききたい

チーム別成果報告

動画チーム

青柳 祐亮

松村 乃杏

今市屋 杜羽

鈴木 舞南

岩上 早紀

山本 来瑠美

瀬谷 治希

今から未来を 2020

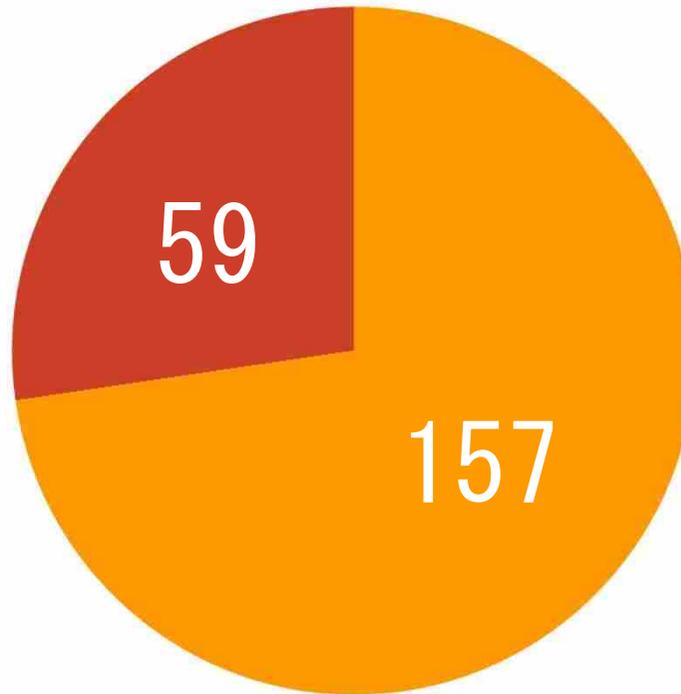
夫婦の数だけ カタチがある

<学生制作ミニドラマ>

青柳祐亮/瀬谷治希/今市屋杜羽/松村乃杏/岩上早紀/鈴木舞南/山本来瑠美

若者の結婚観

- 子供が好き（ほしい）。
- 目標を立てられる
- 悩みが話せる、人のためになれる、
支えあえる。
- コロナや災害が増え、友達とはあまり一緒にいれないが恋人ならいれるため。



- 自分の家庭環境が良くない。
- テレビで不倫や離婚が多くいいものと思えない。
- 就職すらしてないのに結婚して生きていける気がしない。
- 親の介入が嫌だ

■ 結婚したい

■ 結婚したくない

中央情報経理専門学校
男女（18歳～26歳）216名にアンケート

目的

若者に結婚のポジティブな面を伝える

手段

動画による 結婚のイメージアップ

なんで動画？



若者に最も届きやすい **コンテンツ**



動画制作にあたって

8hammer



動画セミナーを受講
動画制作の手順を知る



コンペ大会を開催

企画書 群馬で結婚したら、、、

【課題】

- 結婚に対するネガティブイメージ改善
- 1つのイメージしかない(自分の家庭やTV)
- 結婚に対する準備ができていない
- 群馬県で結婚してもらう

【解決策】

- 自分のなりたいを見つけもらう
- 結婚、離婚への思い込みを解消する
- 結婚の選択肢(多様性)を知ってもらう
- 群馬の制度や政策を知ってもらう

【期待するアクション】

- ネガティブ思想で終わりにしないで前向きになってほしい
- 結婚したらこうしたいという将来設計
- 選択肢を増やす(結婚の在り方)
- 未来像をイメージできるようになる

【映像コンセプト】

【ミライ荘】群馬県でできる結婚の多様性(あり方)を知るアパート

【プラン】

- 結婚における選択肢や群馬の政策を動画で体験
- ターゲット層は私たちと同じ年の人(学校の人) * 20代
- 時間は1分半~長くて3分
20代が見慣れているインスタのストーリーやTIKTOKに合わせ
- 宣伝方法: 学校の人に見てもらう、高崎ラジオや群テレビ
- 15秒~30秒程度の宣伝用動画を作りTwitterやTIKTOKで宣伝
- 視聴者は主人公視点で疑似体験。

【具体策】

- VRゴーグルを付けるとアパートに住む住人になることができ一人ひとり体験ができる。
- 初期住人 = シングルマザー
20代若ママパパ
男子シェアハウス
- ※結婚や子育てを支援する国や県の政策(補助金等)も動画内で紹介する

ミライ荘が舞台のゲーム

ミライ荘で結婚シミュレーション動画制作



群馬で結婚するメリットを
認識してもらう

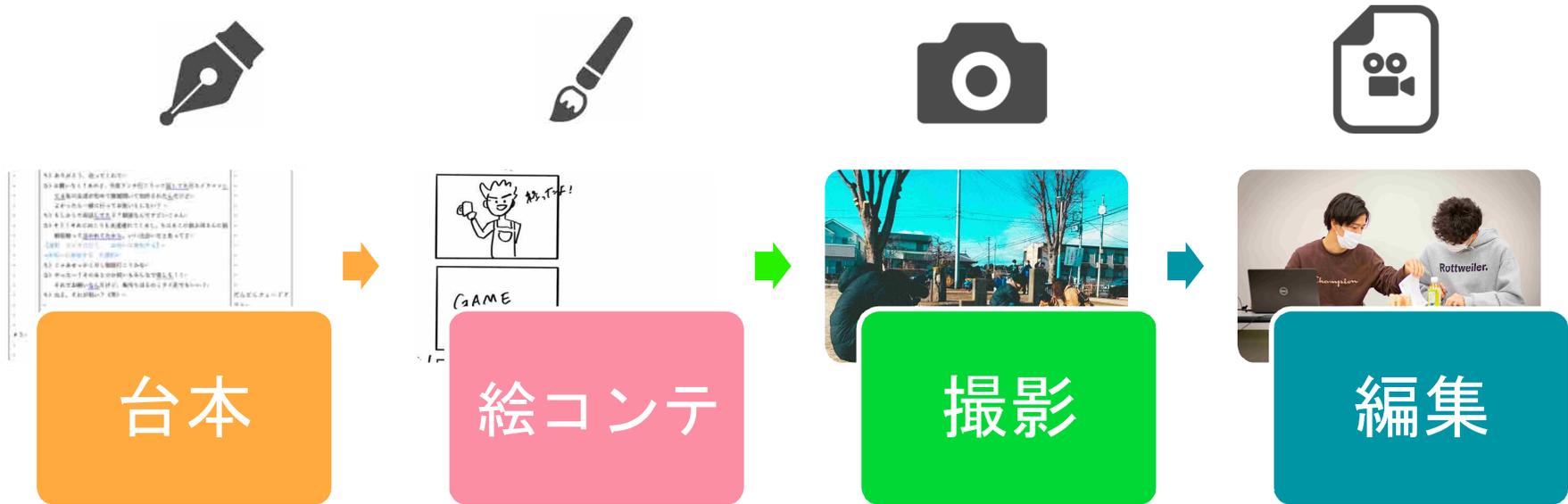
群馬ならではの政策や制度を
知ってもらう

結婚に対する選択肢を増やす

思い込みの解消、色んな想像が
できるように



動画の制作過程



「今から未来を」

2020action

1 作品目



キャラクター紹介



→ Next Movie

2作品目



キャラクター紹介（理想の結婚のカタチ編）



→ Next Movie

動画拡散



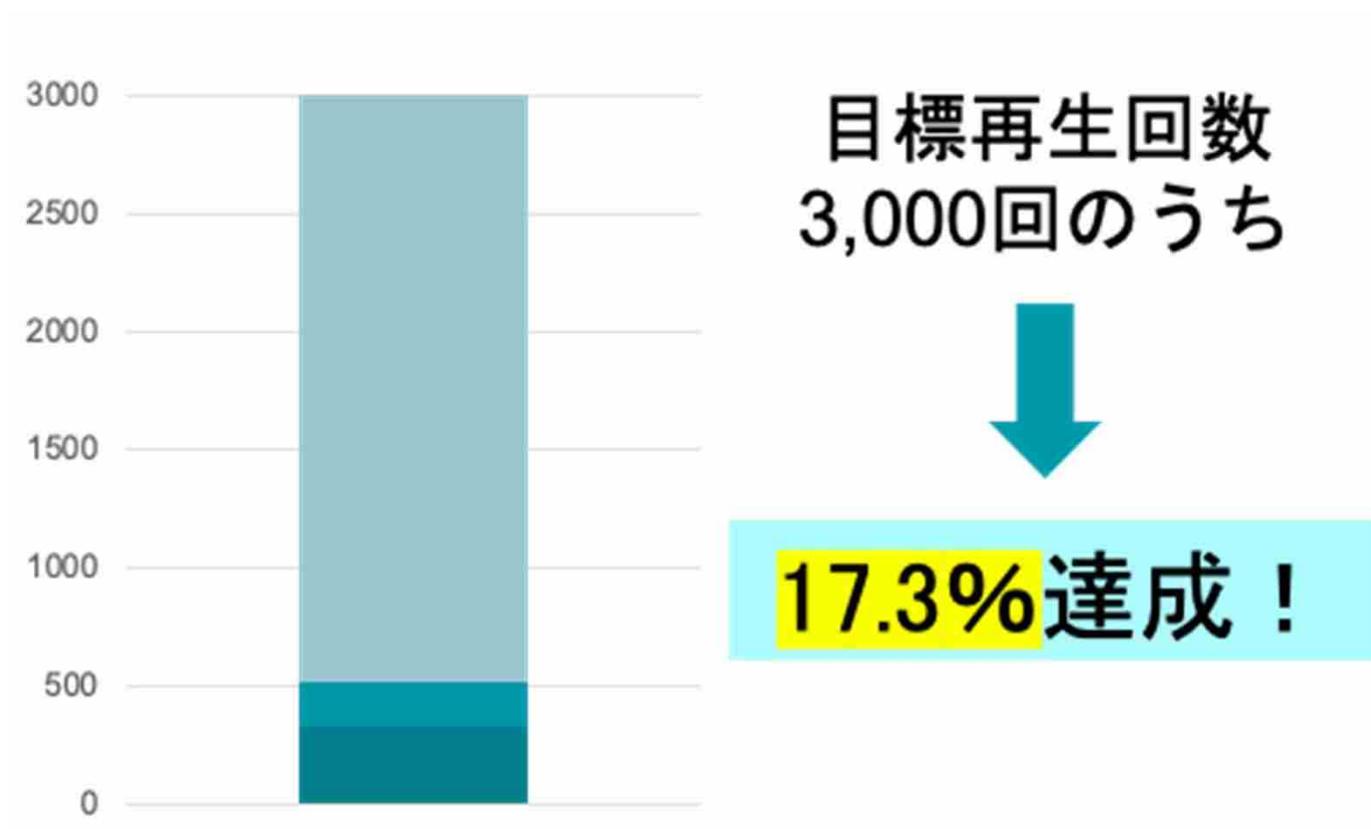
○ 学校や友人に拡散



Instagram 広告の分析



YouTube の再生回数



動画についてのアンケート結果

同年代82人が動画を視聴しアンケートを回答

 男性40% 女性60% 

 恋人有り49% 恋人無し46%

 結婚願望（事実婚・パートナーシップ制度） 85%

 子供の希望 84%

1本目 若夫婦編

65.8



結婚へのイメージがポジティブに変化した

- ・ 回答者の結婚願望が強い
- ・ 動画によるイメージアップに繋がらなかった

86.5



早婚の希望は増えなかった

- ・ 半数が早婚を希望していなかった
- ・ 早婚の定義が曖昧だった

1本目 若夫婦編



7.3 ファミリーサポート制度の認知度

- ・ 未来の子育て世代は、子育て支援を知らない
- ・ 動画による制度の拡散は期待が出来る
(制度を利用したい 77.3%)

31.7 群馬県の待機児童数の認知度



- ・ 首都圏の待機児童問題よりニュースにならない
- ・ 待機児童の少なさは、子育てのハードルを下げる
(ハードルが下がる 53.6%)

1本目 若夫婦編

80.4



動画の再生時間はちょうどよい

- ・長いと回答 17%
- ・もう少し短くても良いのかもしれない

動画への感想

・群馬の待機児童数が少ないことを初めて知った。**ファミリーサポート制度をもっとよく知りたい**と思った。

・結婚願望はあったし、子供の願望はあったけど、夫婦のカタチ、家庭のカタチを作るために色々な制度や土地柄、自分の生育歴、**夫婦お互いのニーズを知っていくのは大切だな**と思った。

2本目 理想の結婚のカタチ編

48.7



結婚へのイメージがポジティブに変化した

- ・ 回答者の結婚願望が強い（当たり前なのかも？）
- ・ 動画によるイメージアップに繋がらなかった

70.7



「男性は外、女性は内」古い結婚観は無い

- ・ 地方在住でも、Z世代には馴染みがない固定観念
- ・ 共働き家庭が多く、馴染みがない可能性

2本目 理想の結婚のカタチ編

90.2



性別に関わらず、互いを尊重できる結婚がしたい

- ・ 回答者の結婚願望が強い
- ・ 結婚の多様化が浸透している

80.4



動画の再生時間はちょうどよい

- ・ 長いと回答 17%
- ・ もう少し短くても良いのかもしれない

2本目 理想の結婚のカタチ編

動画への感想

- ・「人生ゲーム」という一般化されたライフステージを進めていくゲームをしながら、人それぞれの人生について語り合う設定が面白いと思った。
- ・私は子どもが小さいうちは育児に専念したいと考えているため、仕事は子どもが小さいうちは辞めて、ある程度大きくなってきたらパート、そして正社員復帰をしたいと考えている。群馬にパートから正社員になることが可能な企業が増えればいいなと考える。
- ・結婚はどの時代でも大変なのでお互いに協力が大切だと思った。

アンケート結果より

- ・ 回答者の結婚願望は強い（20代結婚願望男性63.4% 女性68.1%）

[10代・20代「結婚はしたい」半数以上 | 結婚相談所パートナーエージェント【成婚率No.1】 \(p-a.jp\)](#)

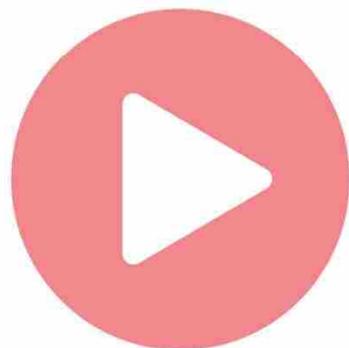
- ・ 「結婚 = 子供」という価値観
- ・ 支援制度・待機児童の少なさは、若者の子育てのハードルを下げる
- ・ 結婚の多様性は、群馬県の婚姻率を上げる
- ・ 動画は有効性アリ、しかし工夫が必要

総括

仮説の立証

動画は若者への情報発信に有効である

しかし...



動画コンテンツは、ありふれているため、
観てもらおうことがむずかしい

総括

観てもらうために工夫が必要

時間

構成

拡散
手段

脚本

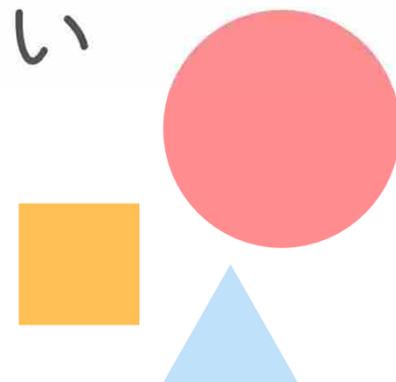
映像

総括

課題

動画は意識が見えない

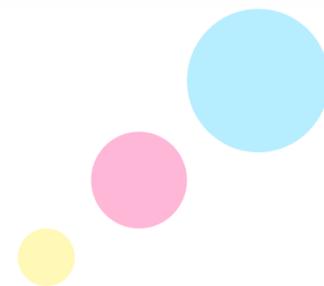
制作者	視聴者の変化がわかりにくい
視聴者	自身の変化がわかりにくい



総括

提言

互いの変化に気付くために
アウトプットが必要



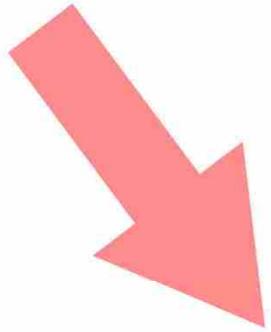
総括

アウトプット

今回のプロジェクトでは
アンケートが自身の結婚観を
見つめるきっかけに



総括



動画

+

アウトプット



「今から未来を」

2020action

総括

Next Vision

動画をつくる
ワークショップ

脚本づくり
「あなたの動画
カタチにします」

Thank you for listening .

活動成果まとめ（制作物）

【動画チーム】

① #ぐんまの若者に届けたい

学生制作ミニドラマ

（1）夫婦の数だけカタチがある

「若夫婦の不安編」

<https://tsulunos.jp/single.cgi?id=1113>



② #ぐんまの若者に届けたい

学生制作ミニドラマ

（2）夫婦の数だけカタチがある

「理想の結婚のカタチ編」

<https://tsulunos.jp/single.cgi?id=1114>

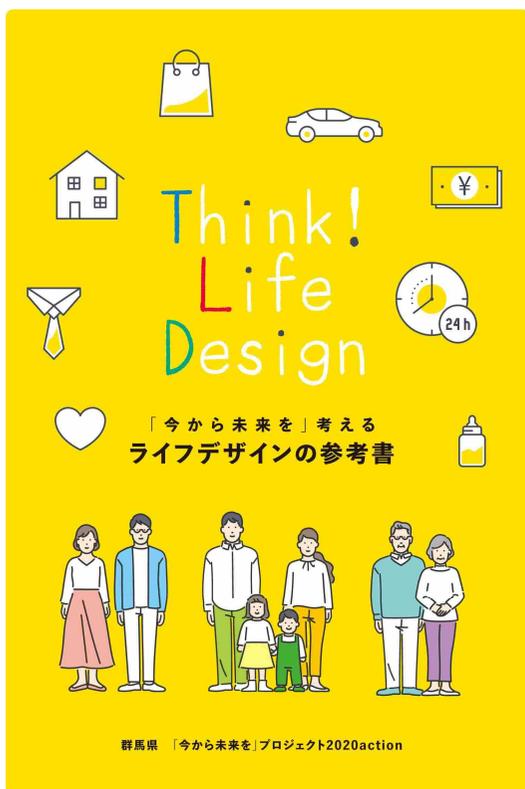


活動成果まとめ（制作物）

【ワーク＆ライフチーム】

『「今から未来を」考えるライフデザインの参考書』

・ A5版/オールカラー/18ページ/PDF版



内容

- ・ ワークライフインタビュー
- ・ 人生マップの作り方
- ・ 人生マップ（読者が作成するページ）

